

国際交流

世界につながる三重大学

飛行機に乗れば地球の裏側にもひとつ飛び、オリンピックやメジャーリーグもリアルタイムで楽しめる。ほんとに世界って身近になったよね。でも、よ〜く考えてみると隣の国の文化や歴史も知らないんだよね。そうそう、三重大学では毎日のようにアジア圏の大学をはじめ他の地域の大学と国際交流活動を行っているんだって。もしかしたら、世界のことを少しわかるかもよ!!



天津師範大学からの訪問団来学 / 2005.1



第1回 日本・ドイツ再生医療カンファレンス / 2005.9



大学間協定

大学名	国名
江蘇大学	中国
チェンマイ大学	タイ
タスマニア大学	オーストラリア
バレンシア州立工学大学	スペイン
廣西大学	中国
カセサート大学	タイ
コンケン大学	タイ
エアランゲン・ニュンベルク大学	ドイツ
地中海(エクス・マルセイユ第2)大学	フランス
東国大学校	大韓民国
梨花女子大学校	大韓民国
西安理工大学	中国
スラナリー工科大学	タイ
パングラデシュ農業大学	パングラデシュ
天津師範大学	中国
ノースカロライナ大学ウィルミントン校	アメリカ

地域発国際環境情報教育プロジェクト / 2005.6



大学間協定校であるタイのカセサート大学訪問 / 2005.4

国際交流センター長
理事・副学長(情報・国際交流担当)
亀岡 孝治



タスマニア大学太鼓クラブ / 2005.2



ミヤコマの教師・児童が教育研修 / 2004.10

学部間協定

大学名	国名	本学締結学部
シャルルド・ゴールリール第3大学	フランス	人文学部
ペーラー医科大学	アメリカ	医学部
釜慶国立大学校	大韓民国	生物資源学部
清華大学熱能工程系及び工程力学系	中国	工学部
上海水産大学	中国	生物資源学部
江南大学生物工程学院	中国	生物資源学部
マーサー大学医学部	アメリカ	医学部
瀋陽医学院	中国	医学部
内蒙古工業大学	中国	工学部
ポゴール農科大学	インドネシア	生物資源学部
リヨン政治学院(リヨン第二大学)	フランス	人文学部
ウェイン州立大学医学部	アメリカ	医学部
ハッサン2世農獣医学大学	モロッコ	生物資源学部
レイテ州立大学	フィリピン	生物資源学部
タマサート大学科学技術学部	タイ	生物資源学部
上海第二医科大学	中国	医学部
ロストック大学医学部	ドイツ	医学部
河南師範大学外国語学部及び教育科学学部	中国	教育学部
モンクット王ラカバン工科大学	タイ	工学部



中国河南省を訪問 / 2005.3



国際貢献フェスタinみえ2005 / 2005.6



医学部とロストック大学医学部との学術交流協定締結 / 2004.10



留学生との交流懇談会 / 2004.12



ボノルル大学長来学 / 2006.1



APAN国際会議に参加 / 2005.8



河南師範大学との学部間交流協定に調印 / 2005.10



アルブライト・メモリアル / 2005.10



モンクット王ラカバン工科大学との学部間協定締結 / 2006.9

国際交流センター

国際研究部門 P3 P4

- 日本語教育・日本文化研修
- 英語による国際共通教育
- 異文化理解・異文化コミュニケーション教育
- 海外留学派遣
- 海外語学研修
- 国際インターンシップ
- 教育データベース

国際サービス部門

- 外国人研究者の受入
- 留学生の受入・派遣
- 外国人研究者・留学生の施設・宿舍
- 設備の管理・運営・整備
- ボランティアの組織化・運営
- 地域社会との連携
- 危機管理の構築
- 留学生データベース

三重大学国際交流センターは、2005年10月1日に、留学生センターを改編して発足しました。新組織は、国際研究部門、国際教育部門、国際サービス部門という3つの部門で構成され、三重大学国際化の要として活動しています。

タスマニア大学

オーストラリア本土の東南に位置するタスマニア州は北海道とほぼ同じ大きさの島。約1カ月ホームステイしながら英語を学びます。



タスマニア大学で授業を受ける三重大生



校内カフェ

エアランゲン・ニュンベルク大学

エアランゲン大学でのドイツ語研修の特徴は、一般的なドイツ語授業以外に、日本学を専攻しているドイツ人学生と一緒に言葉や文化を学ぶことにあります。また、期間中ずっとホームステイをするので、ドイツ人の日常生活について知ることでもできます。



エアランゲン市内中心部。中央右手の建物は1702年築の「鐘楼」で、かつては領主本人の居宅。現在は大学の事務局が入っている。



タムテム授業。日本学を専攻しているドイツ人学生と一緒に。

天津師範大学

「語学研修&文化交流」のプログラムでは、四千年の歴史や文化の交流、中華料理や生活にふれることで、研修で学んだ中国語の理解をさらに深めることができます。



餃子作り



紫禁城で



太極拳体験



国際交流センター・副センター長
花見 槇子 教授

国際研究部門

分野横断的 (Trans disciplinary) で
国際横断的 (Transnational) なグループが
タイムリーな研究を行います。

Asia-Pacific Advanced Network

APAN e-culture



三重大学理事・
副学長 (情報・国際交流担当)
亀岡 孝治
Kameoka, Takaharu

●APANとは

アジア太平洋高度研究情報ネットワーク APAN (Asia Pacific Advanced Network) は、次世代のネットワークやアプリケーションの研究開発のための、アジア太平洋地域を繋ぐ高性能ネットワークです。

●e-cultureとは

アジア地域内で「文化」と「生活」情報を効率的に活用。文化・生活基盤・ICT研究を通して、便利で安全安心な生活を実現します。



ホリスティック心理教育研究所・所長
三重大学客員教授
中川 一郎 Nakagawa, Ichiro

2005年12月「インド洋大津波後調査」(4頁参照)メンバーとしてタイ南部を訪れ、支援状況などの調査を行いました。また、三重大学の「総合的災害科学」の構築に向けての試みとなる研究として、臨床心理士の立場から津波災害者にホリスティックケアの手法「タイピング・タッチ」(指先を使って、どこでも、だれでもできるグルーミング)を使った心と体のケアにより、本来の明るさや優しさを取り戻す様子を発表しました。

21st APAN Meeting in Tokyo

2006.1.22sun-26thu
Akihabara Convention Hall

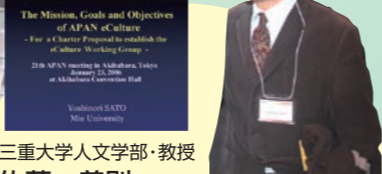


Asian Institute of Technology(AIT)・助教授
三重大学国際交流センター・海外連携助教授
本多 潔 Honda, Kiyoshi

RSから、GA (遺伝的アルゴリズム) データ同化によって、農業およびその水消費の実態を定量的に把握する手法
衛星を使ったRSは広域の情報を得るのに適し、農業モニタリングにも広く使われてきました。もし、この情報から作物モデル変数を推定できれば、どのくらい水を用意すればどのくらい収量が増えるのか、などを知ることができ、最適な農業経営が可能になります。現在、広域で作物モデルを計算するための道を開く手法を開発中です。
なお、莫大な計算量に対応するためのクラスターやグリッドコンピューターの利用、検証に必要な現地調査なども行っています。今後は農業関連に豊富な研究実績を持つ三重大学との協力を密にしていきたいと考えています。

リモートセンシング (RS)
人工衛星や飛行機などに搭載された検知器を用いて、測定・記録し地表付近の情報を収集する技術。遠隔探査。

南半球ではじめてフィールドサーバー(FS)を設置
2006年1月、フィジー諸島の南太平洋大学Laucalaキャンパスに中央農業総合研究センターの協力のもと、三重大学調査隊がFSを設置した。今回のシステムは、現地の気象情報や画像を収集するFSと収集データを蓄積・公開することができるサーバーも設置し、長期運用を試み、http://144.120.26.121/にアクセスすることにより、誰でもリアルタイムでわかるようになりました。



三重大学人文学部・教授
佐藤 義則 Sato, Yoshinori

e-Cultureの今後の方向性を考える会議の冒頭で、e-CultureをAPANにおける正式なワーキンググループとして位置づけるため、使命・目的・目標等について整理し、今後の会議のあり方、メンバー間の連絡調整方法に關しての提案を行いました。

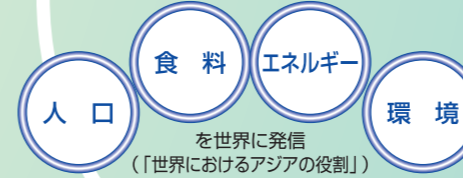
Tri-University International Joint Seminar

3大学国際ジョイント・セミナー

1994年、3大学(三重大学、協定校＝江蘇大学、チェンマイ大学)との国際交流事業として始めました。

テーマ

世界、とりわけアジア共通の最大関心事

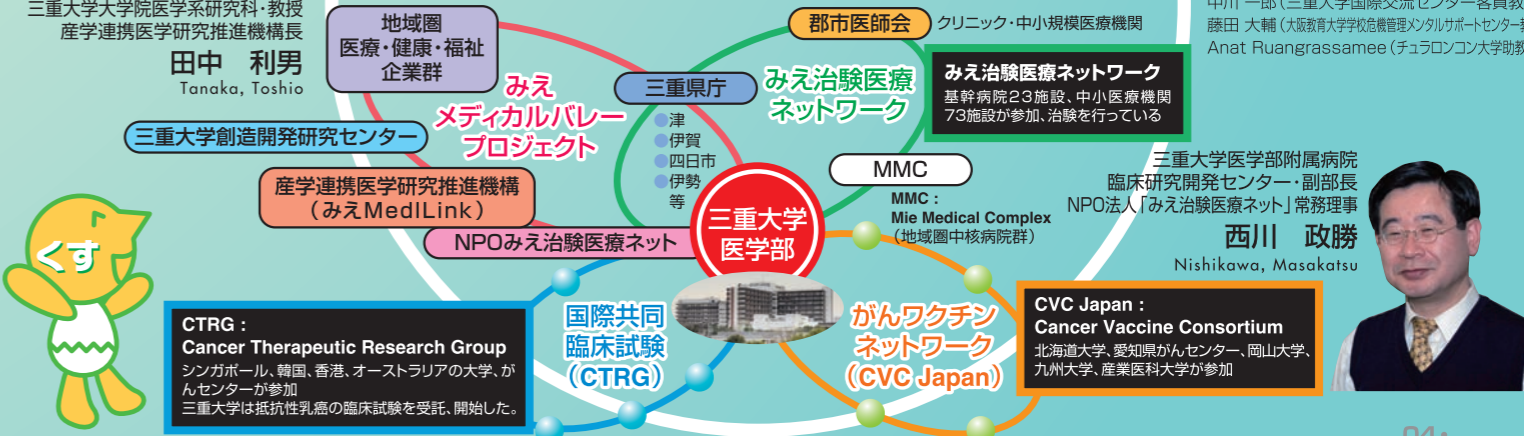


医学治験医療ネットワーク

国際治験ネットの核として始動

新薬の開発にかかせない「治験」(ヒトを対象とした安全性や薬効の臨床試験)を地域ぐるみで実施するNPO法人「みえ治験医療ネット」が三重大医学部を中心に発足しました。このネットの枠を国内の大学医療機関に広げ、更に日本で初めて、大平洋地域の大学や医療機関が参加する「癌治験コンソーシアム(CTRG)」に加わることが決まりました。

次世代創薬への臨床試験への複合ネットワークと拠点形成



School of Internet

SOI Asia プロジェクト

インターネット基盤を使って、アジア諸国の高等教育に貢献することを目標としており、アジア11カ国20箇所の大学や研究機関に授業の配信を行っています。
三重大学はオフイシャル校として積極的に参加、アジアの大学との双方向の学術的な交流を広げています。



10月3日
「自然災害とPTSD」というテーマの講義を
慶應大学三田校舎にて配信



調査メンバー

インド洋大津波後調査

2005.12.7wed-11sun

他大学と共同で、タイ南部において、大津波後1年が経った被災地の現状と課題の調査を行いました。今後も被災地の関係機関と情報交換を続け、災害発生後に被災地に必要な支援に関する研究を進め、さらに、アジア地域での教育、地域貢献として18年度は、Soi Asia (オフイシャル校)で Comprehensive disaster care授業を1年通して配信することになりました。

【調査団メンバー】

- 川口 淳 (工学部助教授・災害対策プロジェクトリーダー)
- 櫻井 しのぶ (医学部看護学科教授・国際交流センター兼務教員)
- 宮田 さおり (医学部看護学科助手)
- 中川 一郎 (三重大学国際交流センター客員教授)
- 藤田 大輔 (大阪教育大学校務管理センター助教)
- Anat Ruangrassamee (チェロコン大学助教)



三重大学医学部附属病院
臨床研究開発センター 副部長
NPO法人「みえ治験医療ネット」常務理事
西川 政勝
Nishikawa, Masakatsu

CVC Japan :
Cancer Vaccine Consortium
北海道大学、愛知県がんセンター、岡山大学、九州大学、産業医科大学が参加



写真/日本のITの象徴
秋葉原ダイビル
秋葉原コンベンションホール